JRCU
JR東海労

東京地区分会情報

2016年 11月14日
第 202号
発行責任者 管野政広

いけてないリニアのお話し？！

地下水想定に穴

博多陥没 地盤固めず

大都市 リニア工事にも課題

道路陥没現場（イメージ）

世論も懸念するリニア工事？
博多陥没は他人事ではない！

八日早朝に、博多駅前で三〇メートルの陥没事故が発生しました。原因は、九州新幹線開業に伴う再開発のためのトンネル掘削工事よるもので、『大量の地下水が土砂とともに流入し、轟音とともに崩落した』と新聞は伝えています。

同時に、リニア事業の中止を求めた行政訴訟など、ＪＲ東海の地域住民の不安に対して、誠意のない態度で強行される「リニア事業」に対して警鐘を鳴らしています。

ＪＲ東海は、３兆円もの財投融資を受ける以上、国民や地域住民の不安に、謙虚に説明責任を果さなければならない！　そして、リニア事業は再考すべきである！